

2025年度
市民協働事業
報告会

2026.3.19

子ども安全パトロール

地域で見守る子どもたちの安全

たてやま青空の会



現状の課題と背景



以前、「子ども見守り隊」という組織があったが、スタッフの高齢化、地区での引継ぎがされないなどの理由により、活動が低迷している。



再び子どもの見守りを地域で行う組織を立ち上げたいと一昨年活動を始めた。

積極的に見守りを行う人も増えたが、地域により、活動の広がり、浸透に偏りがある。

また、オレンジ帽子を日常的にかぶって外出するという習慣がまだ定着していない。

提案の概要



- * 会員を募って「子ども安全パトロール」の帽子を配布（PTA,地域、老人会などに声かけする）。子どもの登下校の見守りだけでなく、買い物、散歩、犬の運動など出かけるとき、いつも気軽にかぶってもらおう。
- * 特に昨年度活動を広げられなかった地域にさらにアプローチして広げていく。
- * 子どもたちには、「子ども安全パトロール」の帽子をかぶっている人は、子どもたちの味方。困ったことや、危ない思いをしたときは頼ってよいと教える。

期待される効果



- * 子どもたちを見守る人が増えることで、子どもを狙った犯罪の抑止になる。
- * 子どもたちの安全を見守り、地域住民の相互の交流を図ることができる。
- * 「安心、安全なまち」という館山市のイメージアップにつながる。

2025年度の活動

オレンジ帽子の普及

- ・ 館山小学校 PTAを中心にした交通安全の取組に
- ・ 柳塚老人会 家の周りで子どもたちを見守る活動

館山警察署 感謝状贈呈式

館山警察署感謝状授賞式





子どもたちを見守るやさしいまちへ



ご清聴ありがとうございました